

八重瀬町認知症高齢者等見守りネットワーク事業

本町では、認知症の人が安心して暮らせるまちづくりを目指し、「八重瀬町認知症高齢者等見守りネットワーク事業」において、認知症等による徘徊で行方不明になる恐れのある方を対象に、早期発見につながる「見守りシール(ラベル)」を交付しております。

町民の皆様へのお願い

このシールやラベルは、認知症等で行方不明になる恐れのある方が衣服や持ち物に貼り付けております。スマートフォン等でQRコードを読み取ると、発見者は保護した際の注意事項などを確認することができ、ご家族等とインターネット上の伝言板を通してやり取りができます。シールやラベルを身に着けた方は、道迷いなどで困っている場合があります。見かけた際には優しく話しかけて、QRコードを読み取り、ご対応いただきます様お願い致します。

共創未来

どこシル伝言板®

動画で確認



八重瀬町認知症高齢者等見守りシール

どこシル伝言板®とは?



認知症等で行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードが読み取られると、保護者へ**瞬時に発見通知メールが届きます**。発見者はQRコードを読み取ると、**ニックネームや注意すべきことなど対処方法がわかる**ので安心です。**チャット形式の伝言板だからやりとりは簡単**。お迎えまで迅速に行えます。

どこシル伝言板®の特徴

読み取ると発見者の
手順を確認できます

準備はこれだけ

1. スマホのメールアドレスを用意する
2. 登録シートの記入
3. ラベルシールの貼付け



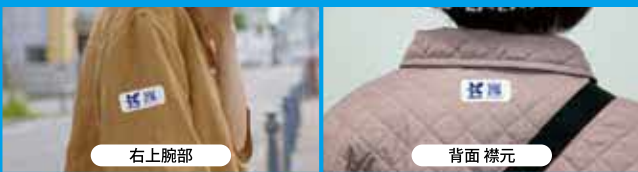
24時間365日OK
夜間も伝言板を通じてやりとりが可能。登録した方へ瞬時に発見通知メールが届きます。

声かけをしやすく
ラベル・シールを貼っておくことで、発見者が声をかけるきっかけになります。

個人情報の記載不要
氏名・住所・連絡先の記載は不要なので安心です。



耐洗ラベル(アイロンで貼り付けられるもの)



蓄光シール(アイロン不可のもの)



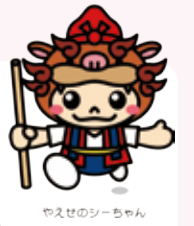
《 お問い合わせ | 社会福祉課 | TEL:098-998-9598 》※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

こんにちは!

地域包括支援センター通信です

インフルエンザにご注意

今年もインフルエンザが流行しています。沖縄県でも今年10月からインフルエンザ警報が発令されました。若年層に比べ高齢者のインフルエンザへの感染は重症化することがあります。発熱・頭痛や関節痛・筋肉痛など全身に症状が急に現れ、高齢者や心臓・呼吸器に慢性疾患を持つ人は肺炎を伴うなど重症化することがあります。



〇インフルエンザを予防するためには?

- (1) 流行前のワクチン接種
- (2) 手洗いやアルコール製剤による手指消毒やうがい
- (3) 感染を広げないための「せきエチケット」
- (4) 室内の換気に気を付けながら適切な湿度を保てるように心がけましょう。

事業紹介

短期集中予防サービス

町内の通所介護施設において、体力UP・歩く力のUP・生活力のUPを目指し、3か月間週2回、リハビリ専門職のもと体操や筋力トレーニングを行います。

※こんな方に適しています!

- ・骨折後、歩く力が落ちてしまった方
- ・膝や腰、股関節の手術を受けて間もない方
- ・足腰が弱って外出が難しくなった方など

対 象：介護認定を受けていない方、または要支援1・2

参 加 費：無料

実施場所：ときわ苑笑い福倶楽部
けんこう倶楽部花庭



認知症初期集中支援チーム

認知症の『早期診断・早期対応』に対応するため、認知症初期集中チーム員がご家庭を訪問し、お話を伺います。困りごとを確認し、一人一人に合わせた支援方法を一緒に考えていきます。まずはご相談ください。

対象：40歳以上で自宅で生活している、認知症が疑われる方で、

- ・認知症の診断を受けていない、または治療が中断している方
- ・医療サービスや介護サービスを利用していない方
- ・認知症の行動・心理症状が強く、対応に困っている方



《 お問い合わせ | 八重瀬町地域包括支援センター(社会福祉課内) | TEL:098-998-9598 》